

太工通信

令和6年度第1号

美術部

デジチャレ成果発表会の参加



デジチャレ



発表後、ステージに集合し笑顔を見せる高校生ら

玉村町で開かれた「地域ICTクラブ」に参加した橋本瑚太朗さんと、邑楽町会場に参加した大久保奏汰さんが感想を語った。橋本さんは「将来、ゲームプログラマーにな

りたくて参加した。学校で学べないことができて楽しかった」と振り返った。くんまプログラミン

23年度、新たに支援対象となった前橋高科学

昨年引き続き参加の藤岡中央高F.C.ラボ(酒井詩音さん、五十嵐至さん)は、藤岡市の名所、桜山公園にある冬木の樹勢

プロのグラフィックデザイナーから指導を受け、イラスト制作ソフトを使った作品制作に取り組んださまざまなコンテストに参加する中で、県内専門学校が主催するデザイン・イラストコンテスト2023「マスクインク」のデザイン部門で準グランプリを受賞したことを報告した。

「マイコンのM5Stackを使うって面白かった。学んだことを応用して、アラームのようなものを作ってみたい」と目標を語った。

低下の原因を、マイコンを活用して調査した。植物の生育に必要な水分量や日射量、気温を雨量計やセンサーを使って調べ、特に枯れ木の多い南エリアに日射量が多く、水分量が少ないことを確

認した。同じく2年連続参加の桐生高物理部(小林立季さん、泉瑛太さん、根子優太さん、中野皓太さん)は、近年頻発する洪水被害に着目。河川や道路のアンダーパス、住宅街などでリアルタイムに水位を計測し避難を促すシステム「フラットマップ」を、小型コンピュータ「ラズベリーパイ」を使って製作した。GPAのIoT部門に参加した。

本年度から参加の富岡高理科部(水江大輔さん、猿谷漱大さん、菅原悠貴さん、伏見歩真さん、堀口唯さんは「ラズベリーパイ」の基本操作やプログラミングについて学んだ。その制御機能を使い、簡易的な掃除機の製作に挑戦。プログラミング学習ツール「スクラッチ」を使って、ゲーム製作にも

徒が取り



太田工業高美術部

2年連続の参加。同校は